

町基本計画策定小委員会」で「新町基本計画」(案)を策定し、現在県と協議を行なっている。

「新町基本計画」の中には、平成22年度から平成26年度までの5年間の財政計画が盛り込まれているが、地方自治体の財政運営は、三位一体の改革による交付税の削減等の影響から、鬼北町や松野町に限らず、全国の市町村も非常に厳しい状況に陥っている。このため、両町が合併した場合には、合併というスケールメリットを生かして、更なる行政改革の推進を図り、より一層効率的な財政運営に努めることで、現在の住民サービスを維持し、安全で安心して生活のできる町として生き残れるのではないかと考え、合併後の財政計画を検討している。

■松野町の懸案事項について。

町長職務代理人 行政訴訟等の問題は、松野町の行財政運営の一つの問題点として、合併の是非を決める判断材料になると考えているが、「松野町自身がはつきりしない点は、鬼北町として条件を示すべきではないか」という点については、合併協議会での委員の皆さんのご意見等を参考にして、新町長が判断されるべきことではないかと考えている。

■住民の理解と協力を得る環境整備について。

町長職務代理人 合併は、住民の皆さんの間で、より活発な議論がなされた上で、皆さんの理解と合意のもと、進められるべきものであることは言うまでもない。

これまで、住民の方々には、合併協議の内容等を「協議会だより」や町政座談会等でお知らせしているが、今後、合併協議項目の確認がある程度終わった段階で、住民の皆さんのご意見を伺うとともに、ご理解を得る機会を持つことは必要であると考えられる。それをどのような方法で実施するかは、新町長が就任後、検討したいと考えている。

横山 二郎 議員

■圃史跡・等妙寺旧境内について。

教育委員長 等妙寺旧境内は、昨年3月に国の史跡指定を受けた。それに伴い、平成20年度および21年度の2カ年で、今後の保存管理の基本となる「保存管理計画」を策定する。この計画策定には、これまでの発掘に携わっていたいた専門家の先生方をはじめ、地元有識者、行政など多岐にわたる委員を選任し、策定委員会を立ち上げ、協議を進めている。既に20年

度は航空測量を実施し、地形図を制作しており、21年度も引き続き調査を進めたいと考えている。今後は、保存管理計画を基に、地域の歴史的な財産としてその特性を生かしながら、保存管理を行い、後世に守り伝えていくことが責務だと考えている。

■圃遺跡の保存について。

教育委員長 先程申した策定委員の中に砂防関係の専門家も加わっていたいており、技術的にも専門分野の先生のご指導をいただきながら、保存管理計画の中で十分検討したいと考えている。

等妙寺旧境内は、調査が進むにつれて、史跡としての重要性がより高まっている。今後の継続した調査の中で、等妙寺が歴史上果たしてきた役割が、より一層明らかになると期待しており、今後の調査の成果を適宜報告していく中で、この遺跡が、私たちの町にとつてかけがえのない存在であること、PRしていかねばならないと考えている。

また、この史跡に限らず町内の貴重な文化遺産を後世に伝承することは、極めて重要なことである。町としても、重要性を十分認識した上で、様々な啓発活動に力を入れたいと考えている。

■小学校での外国語活動(英語)の取り組みについて。

教育委員長 現在、鬼北町立泉小学校で、平成20年度小学校英語教育推進事業を、愛媛県教育委員会から研究指定校として委託を受けている。「読む・書く・話す」の基礎・基本に基づき、主体的に学び、自分の思いを生き生きと伝え合う児童を育てるという研究テーマを掲げ、5・6年生児童(24人)を対象として授業を行っている。授業風景を見てみると、意欲的に英語活動に取り組みものが多く、授業中は活気に満ちている。この英語活動を通して、子どもたちは言葉や生活習慣の多様性に気づくことができ、外国語や外国の文化に対して親しみを持ち、これからなお一層進展する国際化社会の中で、国際人として求められる基礎的な知識の一端を身に付けることができると考えている。

今後は、教員の指導力向上に向けての研修の機会、適切な教材の整備、国際交流員の活用等の環境整備に努め、児童たちが、英語活動に対する興味関心をより一層高めることのできるよう積極的に事業を推進していきたいと考えている。